

産業構造審議会御中

2014 年 8 月 21 日

株式会社イー・ウーマン

株式会社ユニカルインターナショナル

佐々木かをり

1：「平成 27 年度経済産業政策の重点」について

大変多岐にわたる視点でまとめていただいていると思いますので、4 点コメントさせていただきます。

一つは、「日本の稼ぐ力の強化」のための女性活躍についてです。労働力として重要である以上に、女性たち等が多様な視点を経営に加えることができるという点が日本の経済発展、グローバル化に重要であるため、女性の労働のみに焦点が当たる政策でなく男性も含めて経営における多様性を促すために予算が組まれることを希望します。

二つ目は中小企業の活性化についてです。これは、5 つの戦略の第 3・4 の戦略にもまたありますが、地域をブランド化し海外市場を含め新しい市場開拓をするために、現在まで続いている日本各地の技術や産業を丁寧に点検して支える仕組みを作っていただきたいと思います。現代型の企業評価では見落としがちな日本経済を支えてきた「高品質だが控え目な企業」がたくさん存在していると考えます。これらの企業を支える仕組みが必要です。

三つ目は、5 つの戦略の第 2「地域発ベンチャーの創出」の政府調達への参入促進についてです。入札参加条件・手続きの簡素化が重要です。現在の方法では、政府との取引を柱としている大企業に有利です。中小企業は現在の方法では入札までの事務が多すぎて経営メリットがありません。中小企業の入札は彼らの経営をプラスにするだけでなく政府の予算削減になると考えます。

最後に、既に発言機会のある団体等を通じて聞こえてくる情報に含まれない企業が日本にはたくさんあるだろうことを再度認識し、必要だと判断した時に支援できるような自由度のある予算枠、現在までの問題解決のためのでなくビジョンある未来のための政策をつくるための枠も提案したいと思います。

2：産業構造審議会の在り方について

今後の審議会において新しい視点が多く含みいれられるよう、女性委員のさらなる活用を提案したいと思います。たとえば産業構造審議会令第 5 条にある会長代理を女性にし、会長及び会長代理に常に同じ情報が共有されるようにすることや、分科会の会長の半数を女性にするなども検討していただきたいと思います。さらに、見落とししているテーマや、産業構造全体を見直すことなどを扱う新規分科会を設置することもご検討いただきたいと思います。

以上